

Title: 「前田さんのカルテ」



前田さんのカルテ > 2006年04月 アーカイブ

06.04.30

シェムリアップ2

カンボジアのお正月の traditional なせれモニーというので、厳かなお祈りの儀式をイメージしていましたが、たくさん現地の人に混じって手をつないだおいかげっことハンカチ落としと細ひきとベビーパウダーの塗りたくり合いをしました。



それを日本人のあなたに知ってもらいたいと誘ってくれたのは、たまたまふらっと入ったお寺の中にある事務所のスタッフだという人でした。



最初何かのツアーか宗教関係の勧誘かと思ってしまい、それにお金がかかるのかなど聞いてしまいました。彼が純粋に自分の国の文化を違う文化の人に知ってもらいたいという気持ちから誘ってくれたとしたら、たとえば私はそのようなことを何かできるだろうかと思います。クラスメイトの仲良くなったトゥクトゥクドライバーさんのホームパーティに行きました。しばらく外の空気を吸っていたら、行方不明になってしまい、探しに来てくれて、怒っているのか、怒っているなら、そう伝えてほしいと言われました。一緒に楽しみたいと思ってきていることがわかり、申し訳なくて一瞬で目が覚めたような気がした。それはおそらくちゃんと伝えることができませんでした。顔を見ればわかる、とドライバーのシュウさんも言っていたけれど、きっとそれは言葉がすべて解決してくれることではないけれど、一生懸命伝えようとしてくれていることを、聴きたい、読みたい、わかりたいし、そのことや相手に対して、思うことを、伝えたいと思いました。みんなとトゥクトゥクで星の見えるところに連れて行ってもらった。シェムリアップのはずれでした。星ってこんなにあったんだな。自分のものではないけれど、みんなにも見せたいと思いました。

カテゴリ:

post by 前田 明日香 | 日時: 2006.04.30 | [ホームリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

前田 明日香
友達が女の子のママになりました。もうひとりの友達も車を買いました。私は半年の間、写真を撮りに行きます。ありがとうございます。

●最近のエントリー

- ☞ シェムリアップ2 (2006.04.30)
- ☞ シェムリアップより (2006.04.22)
- ☞ ホーチミン2 (2006.04.16)
- ☞ ホーチミンより (2006.04.11)

●アーカイブ

- ☞ 2007年10月
- ☞ 2007年07月
- ☞ 2007年04月
- ☞ 2007年03月
- ☞ 2007年01月
- ☞ 2006年12月
- ☞ 2006年11月
- ☞ 2006年10月
- ☞ 2006年09月
- ☞ 2006年08月
- ☞ 2006年07月
- ☞ 2006年06月
- ☞ 2006年05月
- ☞ 2006年04月
- ☞ 2006年03月

●ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future

OLYMPUS | 2.0

06.04.22

シェムリアップより

2回目のカンボジアです。
 プノンペンでは博物館に行き、
 ひとりで行ったものだから、見たものを処理しきれない感じになりました。
 泊まったホテルに沿った大きな通りのひとつの角に屋台があり、
 そこで働く女の子が
 とても涼とした顔をしていて、
 私は屋台の横でフェンス越しにいました。
 私にとって惹きつけられる魅力的なこととは
 撮りたいということの理由になるのではないかと
 思いました。
 シェムリアップに来て、
 久しぶりに赤ちゃんを抱っこさせてもらった。
 もう首もすわりきみできょろきょろするくらいだったけれど、
 今回は赤ちゃんに怖がられなかった。
 大勢いたギャラリーのみなさんの顔もやわらかくて、あたたかかった。
 はだかんぼのあかんぼうはもちもちして懐かしかったです。
 けれど、
 いろんな店の前で
 帽子を持ったお母さんや兄弟に抱っこされている
 小さな赤ちゃんたちのことは
 まっすぐに見ることができなかった。
 それに気づいたとき
 ほんとうに自分勝手に自己満足だったと思いました。

カテゴリ:

post by 前田 明日香 | 日時: 2006.04.22 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トピックバック \(0\)](#)

06.04.16

ホーチミン2

着いた日ひとりで戦争証跡博物館に行きました。
 次の日訪ってくれたゆまちゃんとマンガロープの森ツアーに行きました。
 マングロープの森の中の水路を小さなボートで、ベトコンの基地があったというところに向かいます。
 そのときの水路が、かつて戦争のためにひどく掘ったものだとということを聞いてぞっとしました。
 でもそれを知らないでいたよりは、知ってよかったですと思います。
 次の日クラスのみんなに会え、五十嵐先生の誕生日もお祝いしました。
 ホーチミン最後の日、
 怒りずに、プランニングの通りに、第2区に行きました。
 交通手段は、昨日約束したバイクタクシーでした。
 ドライバーさんはとても安全運転をする方で、自分のうちが2区にあるそうです。
 私が、怒りずにひどく普段どんな風に暮らしているのか知りたいと言ったからか、
 サイゴン河を渡ってから、まっすうちに行こうと言ってくださいました。
 12才だという娘さんは黄色い飲み物を出してくださり、
 奥さんはテレビを見るのに寝ころんだまま私に笑顔を向けてくれました。
 81才だというお父さんは、たばこを推らせています。
 怒りずに写真も撮らせてもらいました。
 ドライバーさんはレンズを向けると緊張した面持ちに固まります。
 2区の周りや中をずっと走ってもらいました。
 休憩に河のそばでコーヒーを飲んだとき、
 ドライバーさんは、この研修にかかる費用と、私がつっていた地球の歩き方の値段を聞きました。
 1オフィスワーカーだったのを10年前に心臓を悪くして辞めることになり、
 バイクを買ったそうです。
 バイクタクシーの稼ぎは普段だいたい1日15ドルくらい、
 ラッキーな日たとえばリッチなひとを乗せた日などは、30〜40ドルになると言います。
 休みなく毎日、仕事だそうです。
 でも疲れたら休めるし、自分で自分を manage できるからと繰り返しました。
 日本について、とても高いビルがたくさんあるビューティフルだ
 日本人について、とてもフレンドリーだ、
 一緒にカラオケに行ったりもいるし、一緒に写真を撮ったりもいると言います。
 ベトナム風お好み焼きやさんに行き
 ドライバーさんが逐一、自分の手を使って葉っぱで巻いてくれたものを食べました。
 最後になだドライブしたいと言ったら、サイゴン河ではない河まで走ってくれました。
 そこで言われたことは、
 あなたはどうしてそんな悲しそうな顔をしているのか？
 ということだったのです。
 ひきつりながらも
 I don't know!
 と笑いませた自分のことを無責任だと今思います。
 きっと徳は、自分のことや自分の考えを
 忠実に私に伝えようとしてくれていたでしょうに。

カテゴリ:

post by 前田 明日香 | 日時: 2006.04.16 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トピックバック \(0\)](#)

06.04.11

ホーチミンより

ハノイから寝台列車でフエに入り、
 3日間過ごしました。
 最初の日
 船で乗らせてもらった女の子たちに言われるまま
 お金を渡しました。
 女の子たちは船を出るなり
 親にお金を持ち上げて見せました。
 次の日
 古びた、その役割を果たしているのかどうかわからない
 教会のとなり、
 色は灰色の、おうちがありました。
 短パン一枚の主らしき人は、
 「ノービクチャー」
 とひしゃりと言います。
 年齢を聞かれたり、からかわれたりしていると、
 手招きをして、
 奥さんらしき人が大きな刺繍を縫っているのを見せてくれました。
 空が暗くなり、雨が降ってきました。
 しばらくして奥さんが、家の中の小さなすを
 すすめてくれ、そのおうちで時間を過ごしました。
 次の日、橋を渡った狭い通りの奥にある
 集落に行きました。
 子供たちにうちの中に引っぱられたり、
 お金やものをくれと言われたり、
 また雨が降り
 いすをすすめてみる、たり、ア

いっせすのでもつたつして、
そこで時間を過ごしました。
その次の日は、フエ駅で、
フエが地元でこれからダナンに仕事に向かう
という人に会いました。
彼は、フエの a living level はとても低いと言いました。
私はレベルという意味がよくわからなくて
答えるのが難しいということがうまく伝えられず、
でもフエの人は親切だと思っ
て昨日雨が降ったときに、
私に座るところを分けてくれた
と伝えました。
彼は、何度もうなずいて
I know.... と言いました。
私は人が暮らしているところに何の約束もなしに
入ってしまいました。
表もうらもあると思えない
人たちに会って、
私は何をどうしたかったのか
自分が癒されたかったのでしょうか？
逆に、会った人は
私のことを
どう感じたでしょうか？
私は今の学校に入ってから、
何かにつけて
今まで生きてきた中できつと今がいちばん
貧乏だと言っていました。
でも
屋根に穴のあいていないホテルに泊まり、
列車ではミネラルウォーターでうがいをし、
精密機械カメラを持ち歩いています。
私のことをどう思うか、こわくて聞くことができなかった。
でもきつと、
これからも、雨宿りをしに行ってしまうと思われま



カテゴリ:

post by 前田 明日香 | 日時: 2006.04.11 | [バナーリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トランプバック\(0\)](#)

[前田さんのカルテ](#) > 2006年04月 アーカイブ

06.04.06

ハノイより

この旅はじまって以来初めて
飛行機に乗り、
ベトナムハノイにきました。
何もかもみずみずしすぎるのか
濃いのか
あついか
何かに圧倒されている気がします。
時間をかりければ馴染んでくるのか
確かめたくなり、
時間もそんなにないのに街を歩いていました。
今日もカメラも持って行きました。
すげなくいやだと身ぶりで行きまわりのを繰り返して、
5ドルで撮らせてもらえという男の人に会い、
いったい自分はどうしたいのかと思いました。
市場のすみで、何度が目が合った人には
写真はだめだけど、
肩をとんとんとさわって
笑顔で何かを言われました。
何を言ってくれたのでしょうか？
市場を出たところで
小さいバイナップルを
切って売る女の人があります。
すっすつと切っていていきギザギザができていくのを見せてもらい、
ひとつ皮付きでくださいと言いましたが
切ってくれました。
そしてあまりにまっすぐに顔をみるので
なんとも言えない気持ちになりました。
ベトナムでは
外に座りどこかをみているひとが多いし、
お店では商品に埋もれそうになりながら
うとうとしているひともいます。
自分がそれを、怠惰だ！
というひとことでもかたづけようとしていたことに
気づいたのかもしれない。
彼らも
なにかをきつとおもっているだろうし
それが楽だとは私は言えないです。



バイナップルは食べなかったけれど。

06.04.03

台北より

霧台にはなかったけれど、台北にも、高雄で見た信号があります。



昨日今日と、台北をふらふらしました。昨日は博物館と現代美術館に行き、現代美術館では、いちばん出口寄りの青っぽいモノクロの映像が心地よくて、長いことながめていました。みんなに会えた夕方には、すみちゃんと花市に行き、色とりどりの花と石を見ました。今日は市立美術館に行き、ひさしぶりにモノクロの写真をたくさん見ました。今度は映画を観ようと映画館の集まるエリアに行きましたが、観たいと思うものを観られるところを探し出すことができず、休憩し人をながめていました。高いところから夜景もながめました。一見自分で動いたようで、受け身な日々でした。なにかをつくったり表現したりするって、いろんなことがかからみ、要ることだなあと思った。それに取り組むみんなをととても誇らしいと思う。